

# 令和6年度 村岡中学校だより7

令和6年9月30日発行

ふるさとを愛し、自他を大切にして、志高く未来を切り拓く生徒の育成

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、彼岸（今年は9月19日～25日）を過ぎたころから朝夕が過ごしやすくなりました。

9月7日に行いました体育祭は、朝から日差しが照り付ける暑い日となりましたが、多数の保護者、ご家族、地域の皆様にお集まりいただき、ご声援をいただきましたこと誠にありがとうございました。夏休みから準備を始めてきた生徒たちは、それぞれの力を出した充実した表情をしていたと感じました。コロナ禍により半日日程とした体育祭も5年が経過しました。近年の猛暑で時期の変更も検討していますが、体育祭の内容とそれに係る準備、および他の行事を含めた学校行事全体の大幅な見直しや、地区の行事との関連等も考える必要があり、同じ時期の開催としているところです。そのため、休憩を設けて水分補給をしたり、帽子の着用や日焼け止めクリームの使用を勧めたりしています。

10月には、校内マラソン、3年生は「県総合文化祭10/4」と「但馬中学校連合音楽会10/17」への参加、吹奏楽部は「村岡・小代区音楽つどい10/9」への参加、資源回収10/20、文化祭10/26と行事が次々とあります。また、各地区で祭礼もあり、それらの取組もしながら中間テスト10/15-16もあります。見通しをもって計画的に勉強を進めましょう。



## <全国学力・学習状況調査の結果分析>

### (1) 国語

- 全体として、全国や県の平均と同程度である。
- 「思考力・判断力・表現力等」よりも「知識及び技能」の正答率が高い。
- 「知識及び技能」の「具体と抽象の関係」・「行書の特徴」を問う問題や「思考力・判断力・表現力」の「主張と例示の関係」を問う問題については、正答率が高い。
- 自分の考えを書いたり文章の内容を要約したりする記述式問題の正答率が低く、無回答率も高い。
- 「文章と図とを結びつけて内容を解釈することができるか」を問う問題の正答率が低い。



### (2) 数学

- 全体として、全国や県の平均をやや下回っている。
- 「数と式」の正答率がやや高い。
- 「図形」「データの活用」の正答率が低い。
- 問題形式別にみると、「短答式」の正答率がやや高い。
- 「選択式」、「記述式」の正答率がやや低い。



2年生稲刈り体験

### (3) 生徒質問紙

- 「生活習慣」、「規範意識」「朝食を毎日食べる生徒の割合」については全国や県と比較して高い。
- 「自己有用感」は、全国や県の平均と比較して低い。
- 新聞を「ほとんど」あるいは「全く」読まない生徒が80%程度いる(全国や県と同値)。
- 普段(月～金曜日)、1日当たり3時間以上のテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、スマホなど)をしている生徒の割合は、全国や県と比較して低いが、1時間以上ゲームをしている生徒の割合になると逆に高くなる。
- 学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりの勉強時間2時間以上は全国や県の割合よりかなり低い。土日においても低い。
- 「人が困っているときは進んで助ける」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える生徒の割合が、全国や県と比較して高い。
- 学校で、コンピュータなどのICT機器を活用する割合は全国や県と比較して低い。
- 「国語や数学の勉強は大切」と考えている生徒の割合は全国や県と同程度であるが、「国語や数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合は低い。
- ★解答時間が足りなかったと答えた生徒の割合が、全国や県と比べると高い。

#### <課題と今後の取組の方向性等>

##### (1) 国語

- ・「思考力・判断力・表現力」の「読むこと」に関しては、文章教材だけでなく図やグラフ等を含んだ多様な教材を活用し、それぞれを対応させながら読んだり、その関連性や効果を考えたりする時間を作る。
- ・条件作文や要約文を書く時間を取り入れ、内容や条件に合わせて自分の考えを文章化したり、よりよい表現の工夫を考えたりする機会を増やす。
- ・読書活動の充実、新聞記事等の活用を図り、文章の構成や作者の思い、登場人物の心情等、内容を読み取ることを習慣化していく。



##### (2) 数学

- ・「数と式」分野では、問題解決の過程や結果を振り返って考え、結論が成り立つことを説明することに課題があるため、説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄を予想する活動を取り入れていく。
- ・「図形」分野では、証明の条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を説明することに課題があるため、証明を振り返り、用いた前提や根拠を整理し、図形の性質を論理的に考察し表現する活動を取り入れる。
- ・「関数」分野では、一次関数の意味を正しく理解することに課題があるため、日常生活と関連付けながら、関数の意味について考える場面を設ける。
- ・「データの活用」分野では、複数のデータの分布の傾向を比較して捉え、数学的な表現で判断の理由を説明することに課題があるため、データの分布の傾向を読み取り判断する活動を取り入れる。
- ・粘り強く問題に取り組めるよう、授業中に考える時間をしっかり確保する。

##### (3) 生徒質問紙関連

- ・「机上にタブレット」を合言葉に、朝学習や授業での利用を促進する。あわせて、教科の学習が好きと言える生徒の割合が増えるよう、各教科で授業改善を図る。
- ・学校の授業時間以外の1日当たりの勉強時間が増やせるよう、また、スマホやゲームの時間を減らし、ルールを守った活用となるよう、生徒のみならず保護者への呼びかけも行っていく。
- ・今後も、一人一人を大切にしたい学級・学校運営を進め、さらに、家庭・保護者とのいっそうの連携を深めていく。
- ・スマホ、タブレット等で、デジタルコンテンツを閲覧する回数が増えるほど、新聞や本を読まなくなっているように感じる。授業や学活で新聞を活用する方策を考える。

##### (4) その他

- ・学校全体で課題を共有し、すべての教員が、学校教育活動全体をとおして取り組みを進める。また、取組状況を確認しながら、必要に応じて見直し改善を図る。